

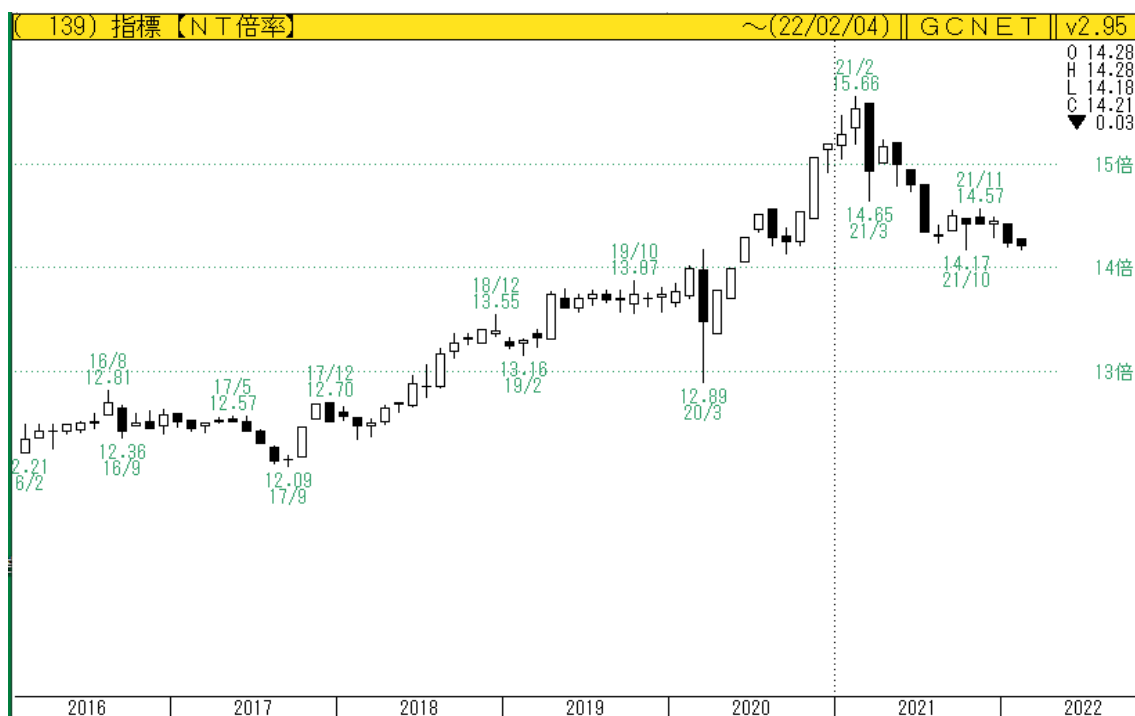
令和 4 年 2 月 07 日

< ワンポイント・レッスン (実践) >
(雑感、N・T 倍率)

最近の金融引き締めへの動きの中で、NADSAQ や米国半導体株指数が他の指標に比べて相対的に弱く、グロース株が軟調な展開となっています。個々の銘柄が高値を付けた時期は、まちまちですが、日本は、どのあたりからの転換したのか興味のあるところ です。

関連した指標の N・T 倍率は、昨年 21 年 2 月がピークでした。2 月は 15.6 倍。直近は 14.2 倍まで低下しています。日経平均は、概して値高優良株の動きを反映、一方 TOPIX は時価総額の大きい企業の値動きを反映しています。もっとも、きれいに転換のタイミングを示すことはありませんが、参考になる指標の一つであるのは確か。以前は、物色の流れを捉えるのに利用したものです。時系列の相対比較は、テクニカル・アプローチだけではなく、他の分野でも利用しています、

(N・T 倍率)



All Copyright © ゴールデン・チャート社

「株価は企業業績と金利の関数」。グロース株も高値からかなり下落しました。この先は、特に企業業績にウェイトをかけてトレースしていく局面とみています。

(了)